

### Ⅲ がん死亡数及び死亡率

#### 1. 死亡率の岡山県と全国との比較

表4に年齢調整死亡率を全国値と対比した。全部位で岡山県の全国に対する比をみると男では0.91、女で0.89と全国を下回った。

部位別にみると、男では肝臓が1.07と全国を上回り、女では乳房と膀胱が1.00と全国とほぼ同率であった。

一般に、岡山県では概ね罹患率は全国を上回っているものの死亡率は全国を下回っている（年齢調整罹患率数値については表2参照）。

	年齢調整死亡率 <sup>(*)</sup>						年齢調整罹患率 <sup>(**)</sup>	
	男		女		岡山/全国		岡山/全国	
	岡山	全国	岡山	全国	男	女	男	女
全部位	166.9	183.3	82.4	92.2	0.91	0.89	1.07	1.17
食道	7.7	9.2	0.5	1.2	0.84	0.42	0.81	0.94
胃	24.7	29.0	10.5	10.7	0.85	0.98	0.97	1.09
結腸	9.8	12.5	6.9	8.6	0.79	0.80	1.07	1.12
直腸	6.3	8.0	3.8	3.5	0.79	1.09	1.18	1.05
肝臓	21.2	19.7	5.9	6.6	1.07	0.90	1.01	1.01
胆嚢・胆管	6.0	7.2	4.4	4.8	0.83	0.91	0.92	0.82
膵臓	12.0	12.9	7.9	8.0	0.93	0.98	1.05	0.95
肺	40.8	42.5	10.4	11.4	0.96	0.91	1.01	1.16
乳房	-	-	11.9	11.8	-	1.00	-	1.20
子宮	-	-	4.0	5.0	-	0.79	-	1.54
卵巣	-	-	2.6	4.3	-	0.61	-	0.66
前立腺	7.1	7.7	-	-	0.9	-	1.13	-
膀胱	3.2	3.6	1.0	1.0	0.88	1.00	1.55	1.57
悪性リンパ腫	4.7	5.1	2.3	2.6	0.92	0.89	0.32	0.30
白血病	3.7	4.7	1.7	2.5	0.79	0.67	0.26	0.20

年齢調整死亡率<sup>(\*)</sup>: 岡山の値については、表5から転記した。全国値については人口動態統計による。  
 年齢調整罹患率<sup>(\*\*)</sup>: 表2から転記した。

## 2. 主要部位別死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率

表5に岡山県の2009年のがん死亡数、粗死亡率及び年齢調整死亡率（標準人口：1985年日本人モデル人口）、死亡割合を男女別、主要部位別に示した。

がん死亡数については人口動態統計の数値（外国人を含まない）を使用した。

県内のがん死亡者数は男が3,158人、女2,140人。合計5,298人に上り、全死亡者18,948人の約28%を占めている。

部位別死亡数では肺が最も多く、男802人、女300人となっており、次いで胃の男468人、女283人となっている。

年齢調整死亡率をみると、人口10万対、男では肺（40.8）、胃（24.7）と高く、女では乳（11.9）、胃（10.5）の順になっている。

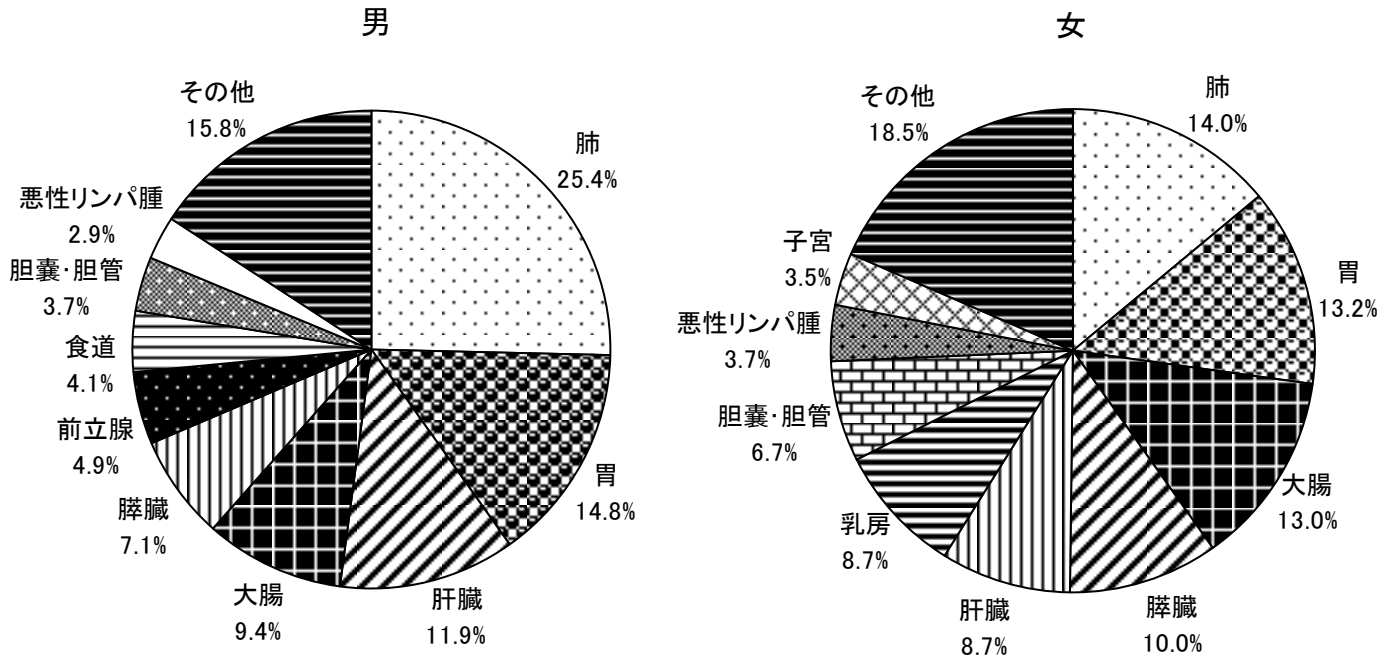
死亡割合についてみると、男では肺（25.4%）、胃（14.8%）、肝臓（11.9%）が上位3位を占め、女では肺（14.0%）、胃（13.2%）、大腸（13.0%）が上位3位を占めた。男では大腸は9.4%で4位であった。

部位	死亡数			粗死亡率		年齢調整死亡率				死亡割合	
						日本人人口 <sup>(※1)</sup>		世界人口 <sup>(※2)</sup>			
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女
全部位	3,158	2,140	5,298	338.8	211.6	166.9	82.4	113.1	57.6	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	63	38	101	6.8	3.8	3.5	1.4	2.4	1.0	2.0%	1.8%
食道	130	21	151	13.9	2.1	7.7	0.5	5.5	0.3	4.1%	1.0%
胃	468	283	751	50.2	28.0	24.7	10.5	16.9	7.2	14.8%	13.2%
結腸	186	194	380	20.0	19.2	9.8	6.9	6.5	4.7	5.9%	9.1%
直腸	112	83	195	12.0	8.2	6.3	3.8	4.3	2.7	3.5%	3.9%
肝臓	377	187	564	40.4	18.5	21.2	5.9	14.4	3.7	11.9%	8.7%
胆嚢・胆管	116	144	260	12.4	14.2	6.0	4.4	4.1	2.9	3.7%	6.7%
膵臓	223	215	438	23.9	21.3	12.0	7.9	8.3	5.3	7.1%	10.0%
喉頭	10	2	12	1.1	0.2	0.5	0.0	0.4	0.0	0.3%	0.1%
肺	802	300	1,102	86.0	29.7	40.8	10.4	27.0	7.0	25.4%	14.0%
皮膚 <sup>(※3)</sup>	10	11	21	1.1	1.1	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3%	0.5%
乳房	0	186	186	0.0	18.4	0.0	11.9	0.0	9.0	0.0%	8.7%
子宮	-	75	75	-	7.4	-	4.0	-	3.0	-	3.5%
卵巣	-	52	52	-	5.1	-	2.6	-	1.9	-	2.4%
前立腺	155	-	155	16.6	-	7.1	-	4.5	-	4.9%	-
膀胱	64	33	97	6.9	3.3	3.2	1.0	2.1	0.7	2.0%	1.5%
脳・神経系	13	14	27	1.4	1.4	1.1	0.8	0.8	0.6	0.4%	0.7%
悪性リンパ腫	93	80	173	10.0	7.9	4.7	2.3	3.1	1.5	2.9%	3.7%
白血病	64	38	102	6.9	3.8	3.7	1.7	2.7	1.2	2.0%	1.8%

日本人人口<sup>(※1)</sup>: 1985年日本人モデル人口    世界人口<sup>(※2)</sup>: DoIIの世界人口  
 皮膚<sup>(※3)</sup>: 皮膚の黒色腫を含む

図 12 に上位 9 位の部位別死亡割合を男女別にグラフで示した。

図 1 2 死亡数による部位別割合 (%) : 主要部位別



### 3. 主要部位別罹患と死亡の比較

表6に罹患と死亡（人口動態統計による）各々について数、粗率、年齢調整率を男女計について対比するとともに、罹患数の死亡数に対する比（I/M）及び死亡数の罹患数に対する比（M/I）を示した。なお、外国人については罹患数集計では除外していないが、死亡数は外国人を除外した数値である。

届出の精度を示す第二の指標である全部位のIM比は2.44であった。

部位別のIM比は生存率の相対的な大小を示唆するものであるが、皮膚16.14、喉頭7.33、脳・神経系6.00、前立腺5.98、乳房5.72が、5.5以上と高かった。

	数		粗率		年齢調整率 <sup>(*)</sup>		罹患数 ／死亡数 (IM比)	死亡数 ／罹患数 (MI比)
	罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡		
全部位	12,948	5,298	666.2	272.6	359.5	118.5	2.44	0.41
口腔・咽頭	246	101	12.7	5.2	7.1	2.3	2.44	0.41
食道	274	151	14.1	7.8	7.6	3.9	1.81	0.55
胃	1,996	751	102.7	38.6	51.7	16.6	2.66	0.38
結腸	1,274	380	65.5	19.6	33.4	8.2	3.35	0.30
直腸	693	195	35.7	10.0	20.4	4.9	3.55	0.28
肝臓	790	564	40.6	29.0	19.6	12.9	1.40	0.71
胆嚢・胆管	330	260	17.0	13.4	6.7	5.1	1.27	0.79
膵臓	510	438	26.2	22.5	12.1	9.7	1.16	0.86
喉頭	88	12	4.5	0.6	2.5	0.3	7.33	0.14
肺	1,675	1,102	86.2	56.7	40.8	23.4	1.52	0.66
皮膚 <sup>(*)</sup>	339	21	17.4	1.1	7.2	0.5	16.14	0.06
乳房	1,063	186	54.7	9.6	41.9	6.2	5.72	0.17
子宮	398	75	20.5	3.9	18.0	2.1	5.31	0.19
卵巣	97	52	5.0	2.7	3.4	1.4	1.87	0.54
前立腺	927	155	47.7	8.0	21.9	2.9	5.98	0.17
膀胱	453	97	23.3	5.0	11.0	1.9	4.67	0.21
脳・神経系	162	27	8.3	1.4	5.5	0.9	6.00	0.17
悪性リンパ腫	118	173	6.1	8.9	2.8	3.3	0.68	1.47
白血病	45	102	2.3	5.2	1.3	2.6	0.44	2.27

年齢調整率<sup>(\*)</sup>: 標準人口は1985年日本人モデル人口を用いた。  
 皮膚<sup>(\*)</sup>: 皮膚の黒色腫を含む

図 13、14 に 2009 年特定部位の罹患数と死亡数を男女別に比較した。

男では罹患数 3 位の肺が死亡数では 1 位、女では罹患数 4 位の肺が死亡数では 1 位であった（付表 11, 12, 22, 23）。

生存率を反映する IM 比は男の前立腺（6.0）、女の乳房（5.7）、子宮（5.3）が高く、これらの疾患は予後良好と考えられる。

